

「徳島環状線「末広・住吉高架橋(仮称)」高架下活用計画（第一期区間）（素案）」に係るパブリックコメントの実施結果について

令和5年7月3日（月）から令和5年8月2日（水）までの間、オープンとくしま・パブリックコメント制度による意見を募集したところ、4名の方から6件のご意見をいただきました。ご意見の概要と県の考え方は、次のとおりです。

番号	ご意見の概要	ご意見に対する県の考え方
1	セブン・イレブン、ロ-ソン等のコンビニエンス・ストアの店舗を開店する。	徳島環状線「末広・住吉高架橋（仮称）」の高架下については、多様な活用が図られるよう、約1.4kmの区間を「学習交流ゾーン」「地域交流ゾーン」「にぎわい交流ゾーン」に分けて、区画毎に用途を設定して行く予定です。 今回の計画区間については、地域の交流イベントやマルシェの開催など多目的に利用できる空間として、用途を「広場」としています。 いただいたご意見は、今後の各ゾーンの計画策定の参考とさせていただきます。
2	道の駅の開業とバス停留所の施設整備を行う。	
3	地域の憩いのふれあいの場所となる都市公園を設置する。	
4	高架下を雨の日や日差しが強い時とかも歩けるよう安全なウォーキングコースを作ってもらえたらと提案します。	
5	人口の少ない徳島県ですから、高架下というメンテナンスも必要なところに何かをここに作っても、利用者は少数であることが見込まれます。 歩行者利用を考えても、高架下に到達するのに、二車線以上渡らねばならず、平日日中の利用が見込まれる高齢者やベビーカーの親子のような歩行者には、気軽に立ち寄りません。 この計画は白紙撤回すべきだと思います。 ふだんは、立ち入れないようにして、交通事故がおきたら事故車やパトカーをとめたり、火事になったりしたら避難、また備蓄庫など、緊急避難や防災の場所として計画していただきたいと願います。	当計画は、地域のにぎわい創出に向け、県民の皆様には高架下空間を有効に活用していただくため、利用できる「場所」や「用途」を示すものとなっています。 防災関連に関するご意見は、徳島市に伝えるとともに、今後の各ゾーンの計画策定の参考とさせていただきます。
6	若者のスケートボードの練習場がない。高架下はもともと騒音で騒がしいので、何とか場所に活用を。	計画策定に際しては、学識者で構成される検討会を設置するとともに、3回の実証実験を行い、その中でスケートボードの利用についても検討を行っています。 周辺の土地利用や音が響きやすい高架下の構造を踏まえ、利用は困難だと考えています。